



# iTunes U コースガイドライン

## 目次

iTunes Uの新機能概要	1
iTunes Uを使うには	2
コース設定	3
コンテンツの編集と整理	4
投稿、課題、教材の追加	6
登録の管理	7
課題の回収と評価	9
管理と協力	10
ベストプラクティス	11
詳しい情報の入手先	13
	14

## iTunes Uの新機能

iTunes U 3.0では、あなたのクラスがiPadでこれまでにないほど簡単にまとまります。宿題の提出、成績評価、ディスカッションなどの新機能により、一人ひとりに合わせた魅力的な学習環境をiPadに作り出すことができます。

### 宿題の提出

宿題の提出を使うと、受講者はiTunes Uから課題を提出できます。また、受講者はAppleおよび他社製アプリケーションや内蔵のPDF書き込みツールを使って課題を完了できます。提出された課題は、一か所にまとめられるので、簡単に管理および評価できます。

### 書き込み機能

書き込みのためのツールを内蔵しているので、受講者はiTunes U上でスタイラスや指を使って教材のPDFに直接記入することができます。\*

### 非公開ディスカッション

受講者一人ひとりのニーズに合わせて、非公開のディスカッション機能を使い、課題に取り組みながら個別にサポートできます。

### 成績評価の統合化

統合化された成績評価を使用することで、非公開コースでの各受講者の成績と課題状況を管理できます。特定の課題に対して有効にすることで、その課題が成績評価の対象であることを受講者に知らせることができます。課題の評価を使用すると個々の受講者や受講者全員の課題の学習進度や進捗状況を確認できます。

### 課題への複数ファイルの添付

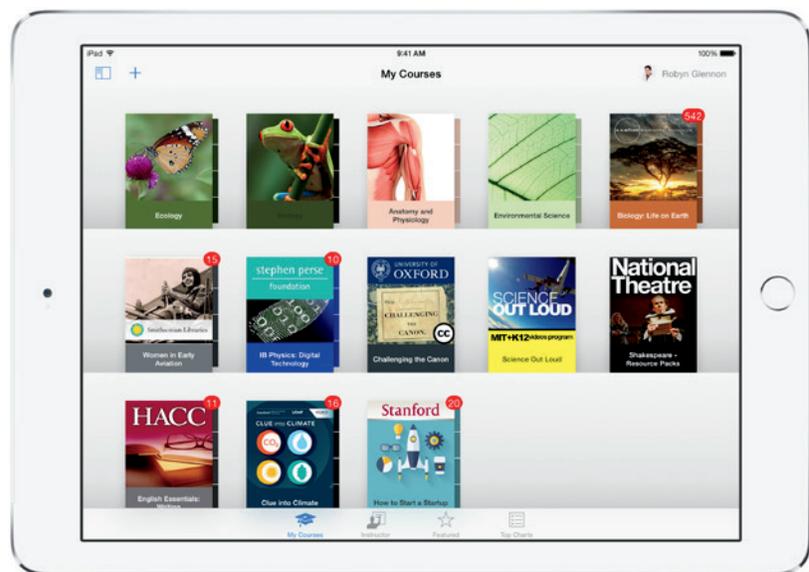
さまざまな学習教材を課題に添付することで、受講者の創造力の幅を広げることができます。

**重要:** コースの新機能の一部をご利用いただくには、iTunes U 3.0が必要になります。受講者が最適な環境でコースを受講できるように、全受講者が最新バージョンのiTunes Uにアップグレードしていることを確認してください。

## 概要

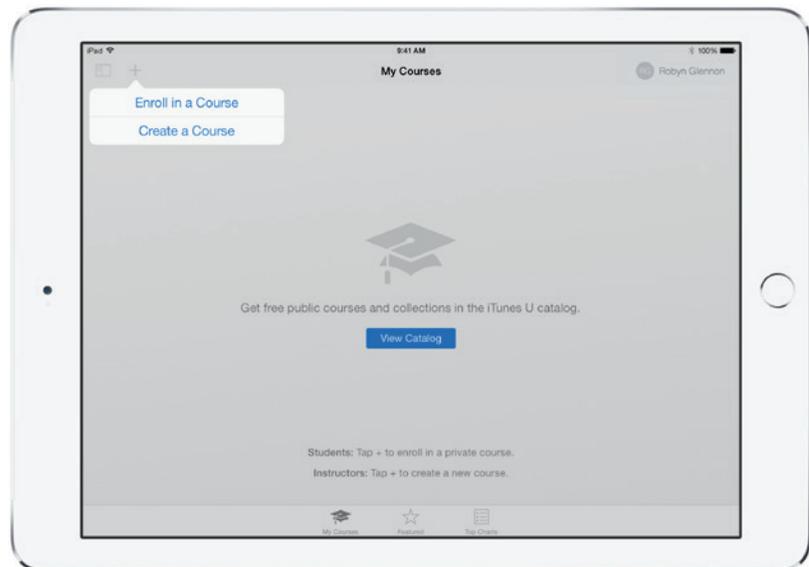
iTunes Uコースでは、授業の実施、課題の評価、受講生との連絡をiPadで簡単に行うことができます。そして、授業に必要な教材はすべてiTunes Uコース上でまとまります。受講者はiTunes Uアプリケーションから直接、ビデオやオーディオの講義を再生したり、本を読んだり、個別に、またはクラス全体でディスカッションを行ったり、課題を提出したりすることができます。統合された成績評価機能を使えば、受講者の評価や課題を一か所で管理することができます。

コースにはシラバス、配布資料、課題などの様々なアイテムのほか、iBooks StoreやApp Storeのコンテンツ、ウェブサイトへのリンクなども追加できます。世界的な教育機関のオーディオやビデオのコンテンツなど、iTunes Uにそろった100万以上のリソースの中から教材を選んでリンクさせることもできます。コースの準備が整ったら、受講者と共有することはもちろん、所属機関のiTunes Uサイトに公開して世界中の教師や学習者と共有するのも簡単です。

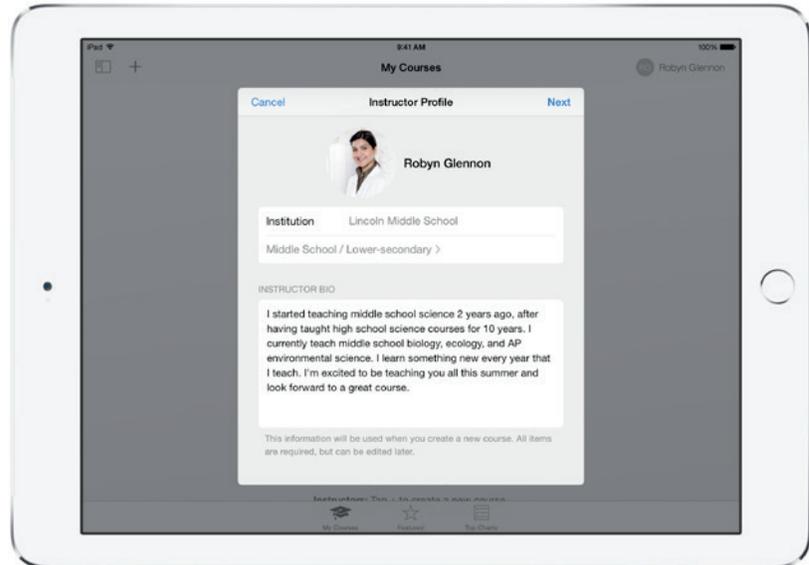


## iTunes Uを使うには

iTunes Uを利用するには、まず無料のiTunes Uアプリケーションをダウンロードします。新しいコースを作成するには、プラス記号(+)をタップして「コースを作成」を選択します。



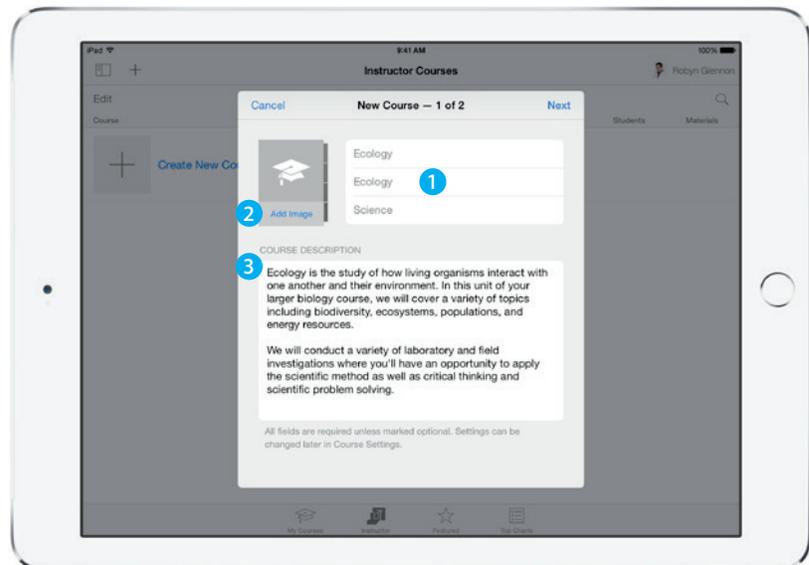
次に、講師プロフィールを作成します。略歴や所属機関名を入力してください。そして、iPadのカメラを使うかあなたのフォトライブラリから選んで、プロフィールに写真を追加します。これらのプロフィール情報は、あなたのコースの「講師」ページに自動入力されます。講師プロフィールは、あなたが作成したすべてのコースに表示され、いつでも編集することができます。



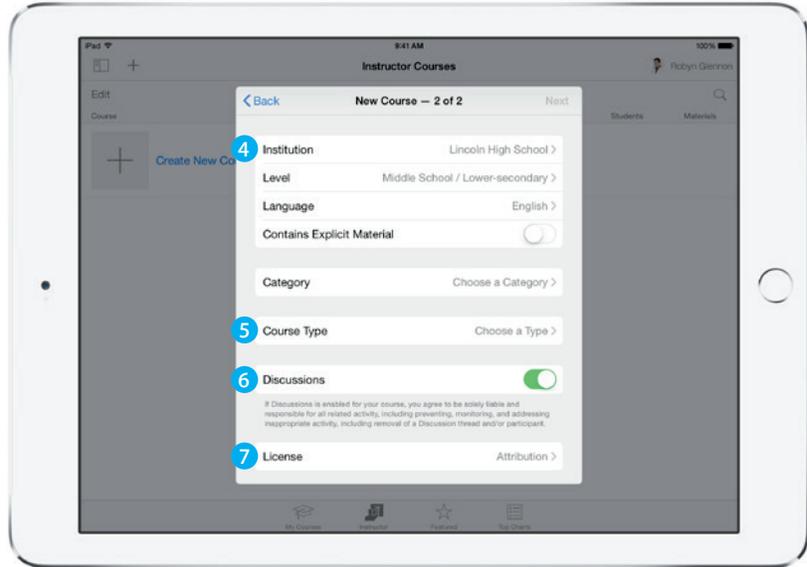
プロフィールを保存すると、コース設定を入力できます。デフォルトでは、iTunes Uで作成されるすべてのコースが非公開に設定されます。

## コース設定

- 1 コース名、コースの省略名、学科を入力します。
- 2 iTunes Uのコースの本棚に使用する、魅力的なコースイメージを追加します。iPadのカメラで写真を撮るか、フォトライブラリからイメージを選んでください。イメージはコース設定の途中でも、あとでも追加できます。解像度は600 x 600ピクセル以上、ファイルサイズは10MB以下のイメージを使用してください。
- 3 説明を追加します。ここで、受講者にコンテンツの内容や、コースの目的を紹介します。例えば、コースの構成、学習成果、学習目標などを加えることができます。「次へ」をタップします。

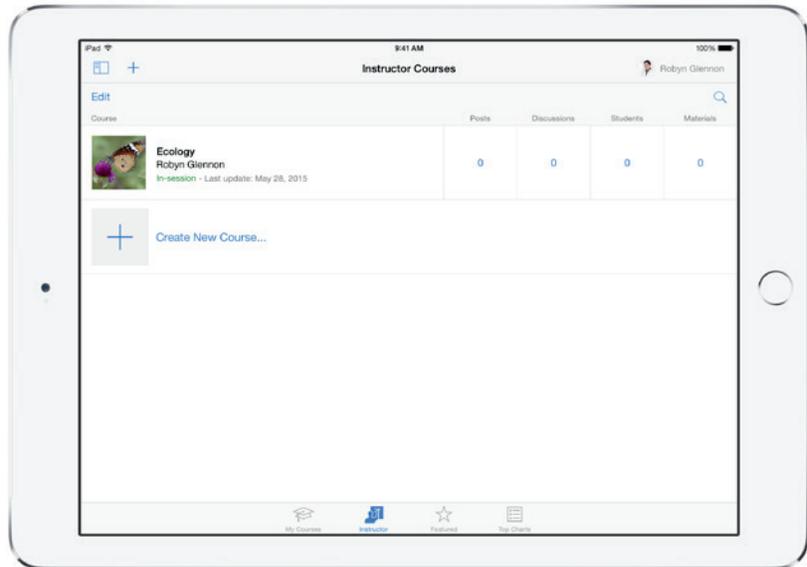


- 4 所属する教育機関名を追加します。レベルと言語、そしてカテゴリとサブカテゴリを選択します。
- 5 あなたのコースのタイプを「セルフペース」か「インセッション」のいずれかから選択します。受講者が自分のペースで学べるようにする場合は「セルフペース」を選びます。ここでコースの推奨期間を指定し、あとでいつでも変更することができるようにしておきます。あなたの講義に受講者が参加する形式をとりたい場合は、「インセッション」を選びます。「インセッション」のコースは特定の期間内に行うもので、コースの開始日、終了日、課題の締め期限を設定する必要があります。
- 6 ディスカッションを行うかどうかを指定します。「討議」を有効にすると、受講者は非公開で講師であるあなたと、あるいはクラス全体と会話を始めることができます。講師は受講者と個別に話をして、質問に答えたり、サポートを行ったり、課題についてフィードバックしたりすることができます。また、講師と受講者はクラス討議を始めることができます。コースの受講者は誰でもクラス討議に参加できます。講師は討議を監視しながら、会話にも参加できます。コースの討議を無効にすることもできます。その場合はコースを公開した時に討議が削除されます。
- 7 コンテンツのライセンスを選択します。標準的なクリエイティブコモンズなど、様々なオプションが用意されています。ライセンスによって、ほかの人がコースのコンテンツをどのように利用できるかが決まります。



コース情報を追加できたら「次へ」をタップします。画面が講師ダッシュボードに切り替わり、あなたが作成したコースと、あなたが協力講師として参加しているコースがすべて表示されるので、各コースの概要を確認することができます。

これで新しいコースを作成できました。コースを作成したら、そのほかのコンテンツを加えていくことができます。

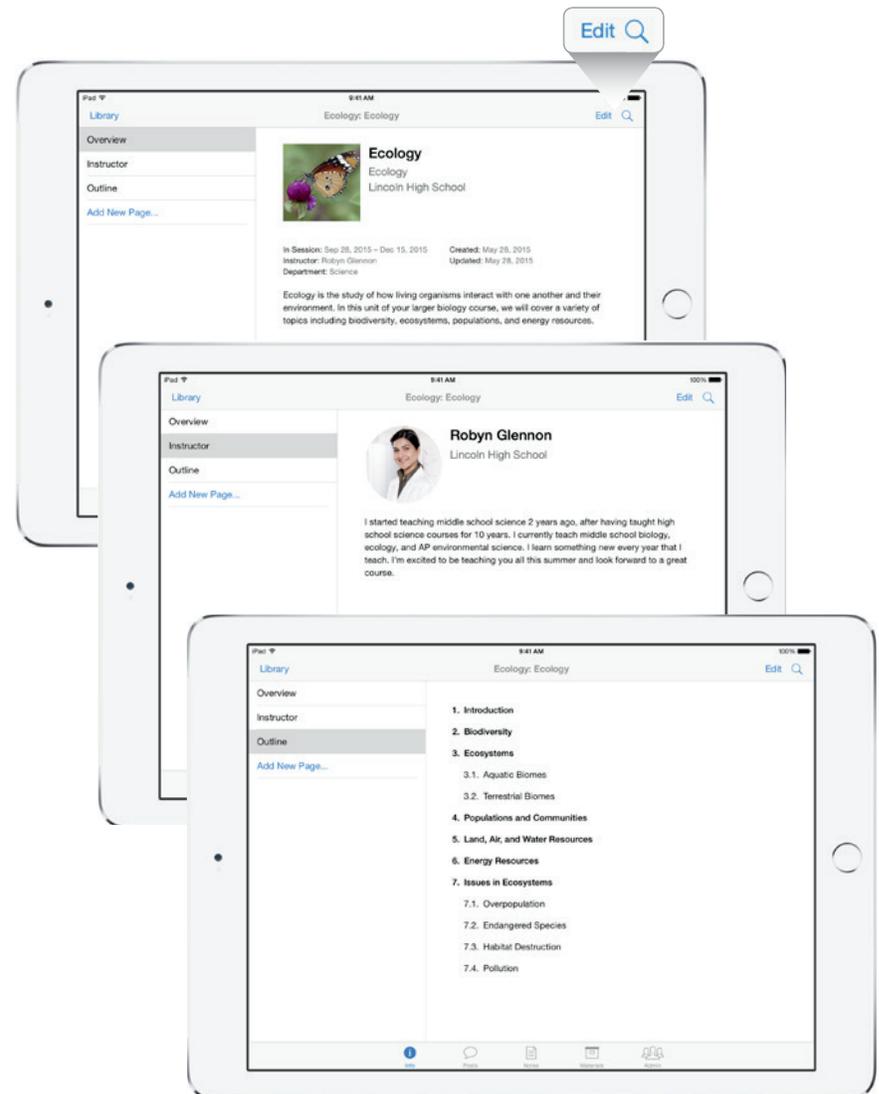


## コンテンツの編集と整理

コースの作成では、「概要」、「アウトライン」、「講師」ページを使います。「概要」ページには、コースの説明、所属機関名、レベルなど、コース設定の際に入力した情報が表示されます。コース情報はいつでも編集できます。

「講師」ページには、あなたのプロフィール情報が表示されます。この情報はいつでも編集できます。

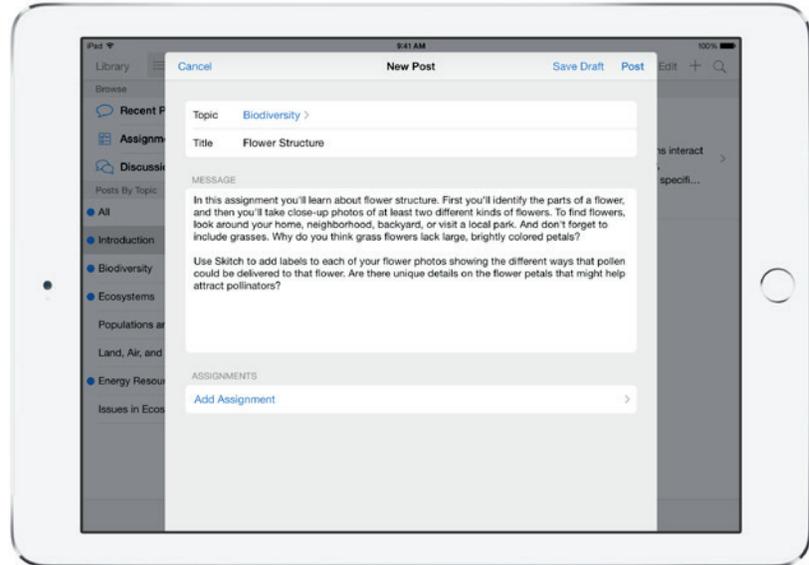
「アウトライン」ページでは、コースのシラバスを入力します。投稿と課題はすべてアウトライン内のトピックに関連付けられます。コースのアウトラインはiTunes Uに直接入力でき、サブレベルを二つまで含めることができます。このページにテキストを貼り付けることもできます。



## 投稿、課題、教材の追加

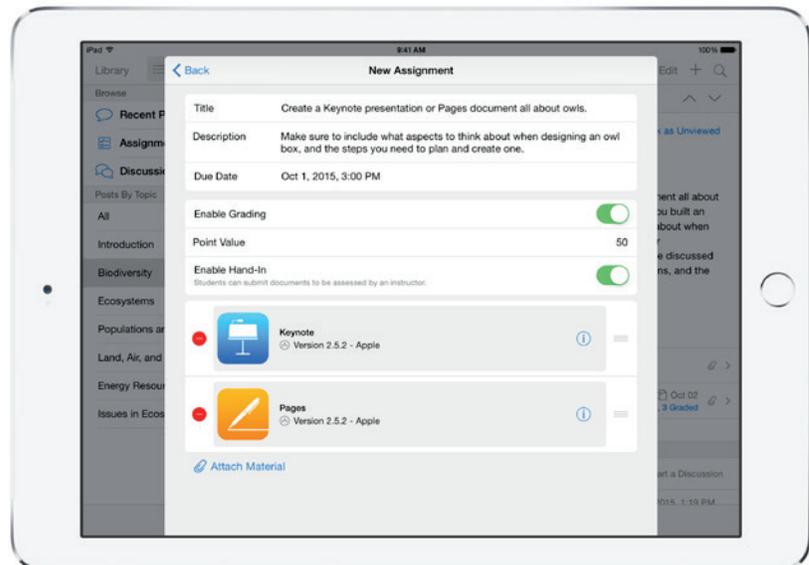
投稿、課題、教材を使って、あなたのコースにコンテンツやコンテキストを追加します。

投稿は、指示、説明、講義の要約などです。投稿を作成するには、アウトラインからトピックを選び、投稿のタイトルを入力し、メッセージを書きます。



どの投稿でも複数の課題を作成でき、インセッションコースでは、課題ごとに期限を選ぶことができます。課題にはタイトルと説明を入力し、受講者に課題の目的が分かるようにしましょう。

「評価」を有効にすると、課題の採点ができます。課題について提出機能を有効にすると、受講者は直接 iTunes U から課題を提出することができます。受講者はプレゼンテーション、ワークシート、ビデオや iTunes U に対応しているアプリケーションで作成した課題を提出できます。「評価」パネルで、課題の進捗状況や評価をまとめて管理できます。

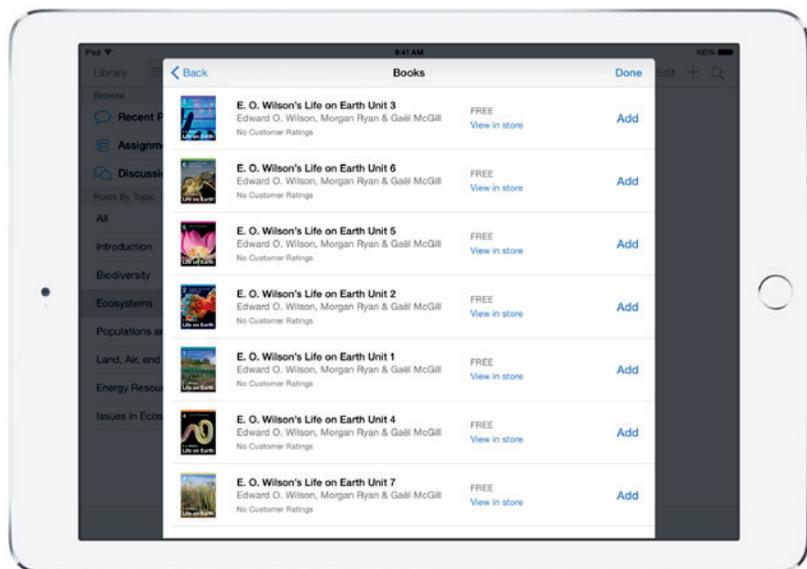


課題には、ビデオやオーディオのファイル、ウェブリンク、ワークシート、アプリケーション、本など、コースに含まれる様々なタイプの教材を利用できます。

オリジナルの写真、ビデオ、書類を追加して、「教材リスト」で管理することもできます。

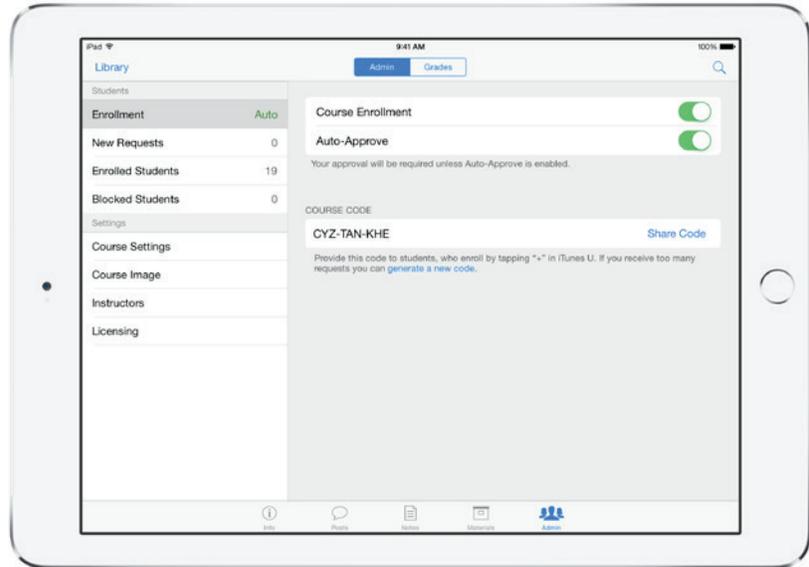


「Storeを検索」を使うと、魅力的なアプリケーションや本、iTunes Uリソース、Podcastなどを見つけて追加できます。

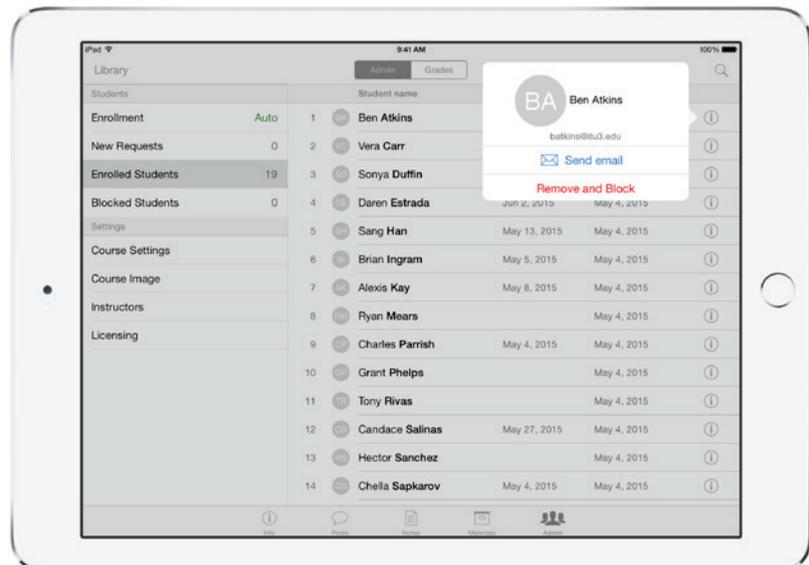


## 登録の管理

受講者にコースへの登録を依頼する準備ができたなら、「管理者」タブの「登録」ページをタップし、コースの登録コードまたはショートカットリンクを受講者に送信します。受講者がiTunes Uアプリケーションに登録コードを入力するか、iPad、iPhone、iPod touchでリンクをタップすると、講師に登録要求が送信されます。講師はこの要求を承認または却下できます。「自動承認」を有効にすると、登録を要求してきた受講者をすべて自動的に承認できます。



登録要求を承認すると、受講者の名前が名簿に表示されます。登録しているすべての受講者と、各受講者が最後にコースを表示した日付を一覧表示で確認することができます。受講者をコースから登録抹消するには、受講者名の右の「i」アイコンをタップします。名簿から受講者を削除すると、その受講者のデータはAppleのシステムから削除され、利用できなくなりますが、受講者は、引き続き、自分のデバイスのローカル情報にはアクセスできます。

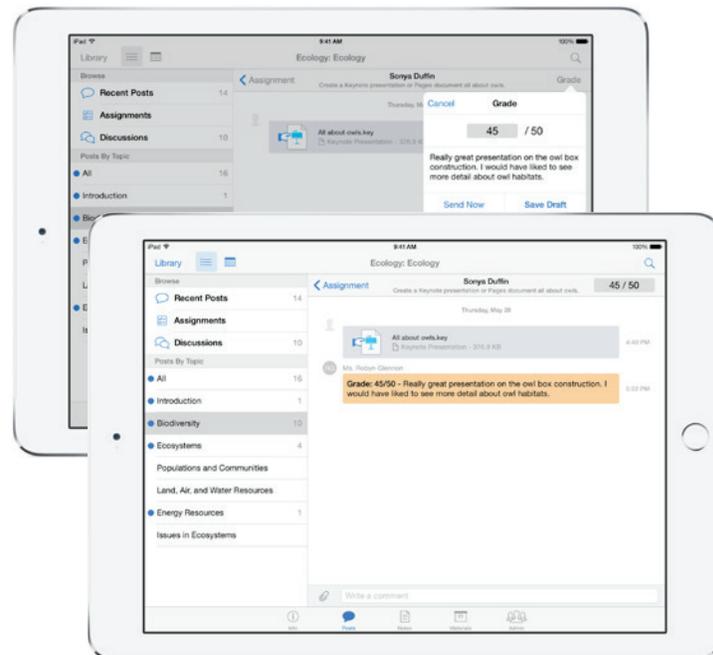


## 課題の回収と評価

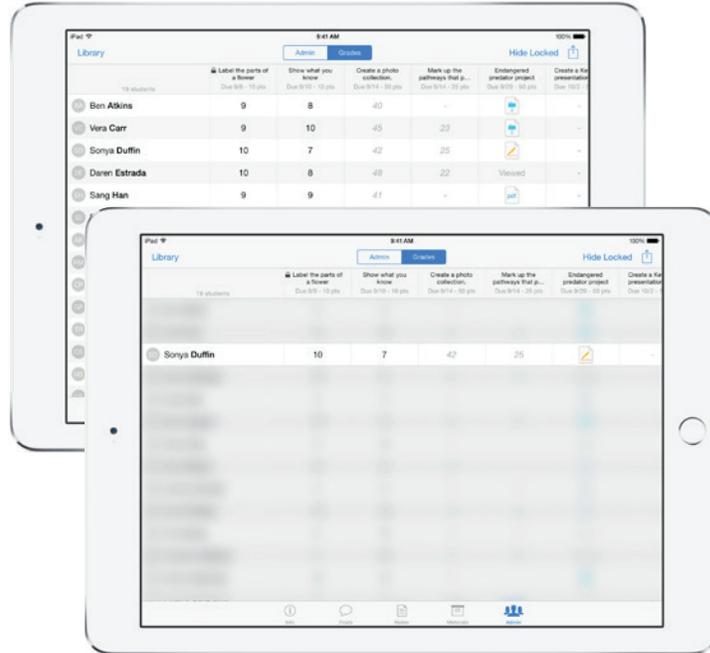
課題の提出機能を使うと、受講者はiTunes Uから宿題を直接、簡単に提出することができます。講師は内蔵の評価機能を使って、受講者の進捗状況や全体または個々の成績を確認できます。



受講者が課題を提出すると、講師はダウンロードして評価を行うことができます。採点するには「評価」をタップしてください。課題のフィードバックを個別に提供することができます。評価は、すぐに送信することも、下書きとして保存して後で送信することもできます。



統合された成績評価機能には、プライベートコースの受講者全員の進捗状況が表示されます。講師は受講者がコースの課題をどの程度進めているかを確認することができます。受講者が課題を見たかどうか、提出したかどうか、講師にプライベートメッセージを送信したかどうかといったことも確認できます。コースの受講者全員の進捗状況を表示することも、個別にタップしてハイライトすることもできます。



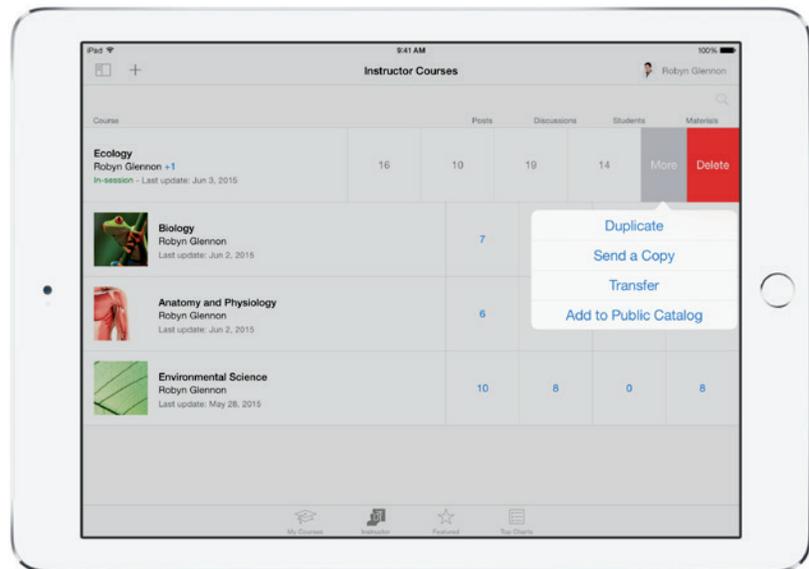
## 管理と協力

**コースの複製。**コースを複製するには、ダッシュボードで左にスワイプして「複製」をタップします。複製したコースは、インセッションからセルフペースに変更するなど、自由に編集することができます。

**複製したコースの送信。**あなたのコースの複製(アウトライン、投稿、課題、教材を含む)を、ほかの講師に送信することができます。複製したコースを受け取った講師は、そのコースをそのまま授業で使うか、必要に応じて編集できます。

**コースの譲渡。**コースの所有者は、コースの完全な所有権を別の講師に譲渡することができます。その際、受講者の学習が中断されることはありません。注意:所属講師に所有権を譲渡するには、あなたと譲渡先の講師が同じ教育機関に所属している必要があります。

公開カタログへの追加。iTunes Uの公開サイトを持つ機関に所属している講師は、世界最大の無料教育コンテンツのデジタルカタログであるiTunes Uカタログに自分のコースを公開することを申請できます。「公開カタログに追加中」をタップすると、公開サイトの管理者にEメールで申請が送信されます。



コースの協力講師への参加依頼。最大5人の協力講師に自分のコースへの参加を依頼することができます。協力講師はコースに参加できるだけでなく、コースの受講者情報(評価やEメールアドレスなど)にもアクセスできます。コースの協力講師を追加するには、「管理者」ボタンをタップしてから「講師」をタップし、さらにプラス記号(+)をタップします。

## ベストプラクティス

iTunes Uコースを作成して使う時には、次に挙げるベストプラクティスを検討しましょう。

- **説明。**コースの説明に、学習目標のリストを記載しましょう。そうすることで、受講者はそのコースが自分の学習ニーズに合っているかどうかをすばやく判断できます。公開コースの場合は特にこの記載が重要です。
- **タイトルの表示。**投稿や課題には、受講者が一目見ただけでポイントが伝わるような、短いタイトルを使いましょう。
- **投稿。**投稿メッセージを使って、教材の目的や内容を伝えましょう。受講者がすでに学んだことと、現在行っているアクティビティとの関連性や、今学んでいる内容が今後のコースでどう役立つかを伝えます。
- **課題。**まず、受講者にしてもらいたい課題を入力します。課題を追加すると、受講者のためのTo Doリストが作成されます。
- **討議。**クラス討議用のスレッドを作成して、受講者の関心を引き寄せ、受講者同士の対話を促しましょう。特定の投稿に討議を追加することも、コースの全般的な討議を作成することもできます。受講者と個別にディスカッションを行うこともできます。
- **多様な教材。**教材は、「投稿」タブと「教材」タブからコースに追加できます。学習スタイルに合わせて様々な教材を組み込みましょう。テキスト、ビデオ、アプリケーション、本などを適切な割合で組み合わせるようにしてください。App Storeには、あらゆる学カレベルと学習スタイル向けの幅広い題材を網羅する数えきれないほどの教育アプリケーションが用意されています。iBooks Storeには、伝記、参考書、大手教育出版社が発行するiBooksテキストブックなど、コースで活用できる本が豊富にそろっています。さらに、教育用コンテンツのiTunes Uカタログには、あなたのコースに組み込める講義やビデオなどの学習リソースが満載です。
- **教材ライブラリ。**教材は、「教材リスト」機能を使って追加することもできます。複数のコースで同じ教材を使う場合は、「教材リスト」が便利です。このリストは、今後のコースで使う教材のウィッシュリストとしても使えます。
- **ディープリンク。**受講者がビデオを特定の場所で再生したり、終了したり、本を特定の章から読み始められるように、それらのか所のリンクを貼ることができます。
- **オリジナル教材のアップロード。**受講者がコースに必要なすべての教材にワンタップでアクセスできるように、プレゼンテーションや、ワークシート、ビデオ、本などのオリジナル教材も追加しておきましょう。例えば、内蔵カメラを使ってコースの紹介ビデオを撮影します。フォトライブラリやiCloud Driveに保存できるものなら何でもコース用教材として追加できます。Pages、Numbers、Keynote、その他のアプリケーションでコンテンツを作成した場合は、「共有」アイコンをタップして、「iTunes Uで開く」を選ぶと、その教材を直接iTunes Uに追加できます。また、内蔵の書き込み機能を使って、受講者はあなたがアップロードしたPDFに直接記入することができます。これらの操作はすべてiTunes Uの中で行えます。
- **メモ機能の活用。**WordやPagesの文書をePubやiBooks Authorのフォーマットに変換することを検討してください。これらのフォーマットでテキストを使うと、受講者は本の中でメモを取り、コースの「メモ」タブにまとめることができます。

- **携帯性と内蔵ツールの活用。**持ち運びのできるプラットフォームを活用したアクティビティを計画しましょう。教室の外やキャンパス内、フィールドトリップ、地元の地域でデータを集めたり、コンテンツを作るなど、方法は様々です。iPadに内蔵されたカメラ、マイク、ビデオレコーダーを活用すれば、新しいタイプのアクティビティを企画できます。すでに説明したとおり、受講者は課題の作成にiTunes Uに対応しているアプリケーションを使うことができます。
- **評価。**統合された成績評価機能では課題の見出しを確認すれば、概要が一目瞭然です。課題を提出した受講者の人数や評価した課題の数を確認することも、評価を下書きとして保存しておき、全員分を一度に送信することもできます。また、課題の提出期限が過ぎたら、課題をロックして、それ以降の提出は受け付けないようにすることもできます。
- **通知。**インセッションコースで教えている場合は、受講者にいつでも通知を送信することができます。通知はアウトラインのトピックとは関連付けられていません。連絡事項の内容は、講義のキャンセルや試験日の変更など、事務的なものです。
- **RSSフィードの追加。**オーディオ・ビデオ教材のコースへの追加は、RSSフィードや講義キャプチャシステムからも行えます。フィードを教材として追加すると、iTunes Uによってその教材があなたのコースに読み込まれます。新しい教材がフィードに追加されると、iTunes Uが自動的にアップデートをチェックし、その教材をコースに追加します。
- **アカウントの関連付け。**所属する教育機関がiTunes Uの公開サイトを持っている場合は、あなたのiTunes Uアカウントをその機関に関連付けてください。これにより、利用できるアップロード容量、作成できるコース数、各コースに登録できる受講者数の制限がなくなります。また、公開サイトの管理者にコースを送信して、iTunes Uサイトでコースを公開することもできるため、世界中の学生たちに自分のコンテンツを届けられるようになります。所属する教育機関がiTunes Uの公開サイトを持っていない場合は、[eduapp.apple.com](http://eduapp.apple.com)で登録方法を確認してください。

## 詳しい情報の入手先

iTunes Uサポート：[www.apple.com/jp/support/itunes-u](http://www.apple.com/jp/support/itunes-u)

iTunes Uのセキュリティとプライバシー：[support.apple.com/ja-jp/HT204918](http://support.apple.com/ja-jp/HT204918)

\*内蔵されたPDF書き込みツールは、iPad (第3世代)以降およびiPad mini 2以降で利用できます。

© 2015 Apple Inc. All rights reserved. Apple, Appleのロゴ、iBooks, iPad, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes U, Keynote, Numbers, Pagesは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iCloudは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。App StoreおよびiBooks StoreはApple Inc.のサービスマークです。この資料に記載されたその他の製品名および社名は該当する各社の商標です。2015年6月